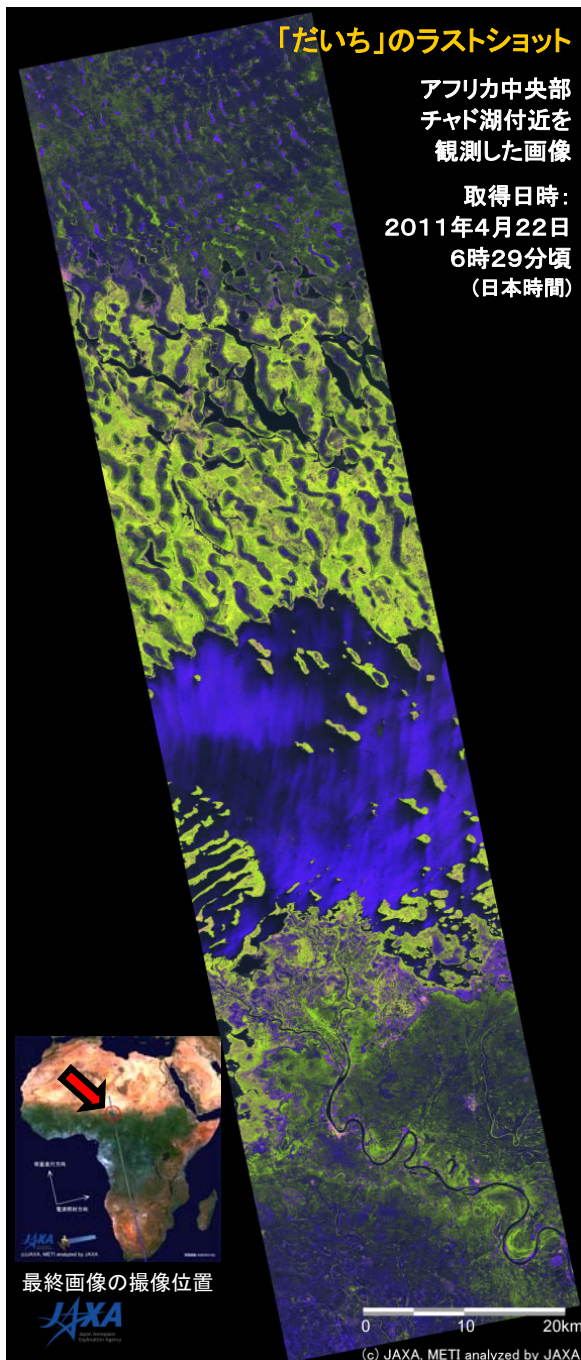


# ありがとう、そして、さようなら 「だいち」の運用が終了…。

陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)は平成23年4月17日に電力異常が発生し、JAXA では約3週間にわたって「だいち」との交信回復を試みていましたが、このたび交信不能と判断され、5月12日午前10:50に「だいち」搭載の送信機とバッテリーを停止するコマンドが送信され、運用が終了しました。「だいち」は、平成18年1月に打ち上げられた後、設計寿命3年、目標寿命5年を超えての運用を通じて、地球観測に関する多くの成果を挙げました。



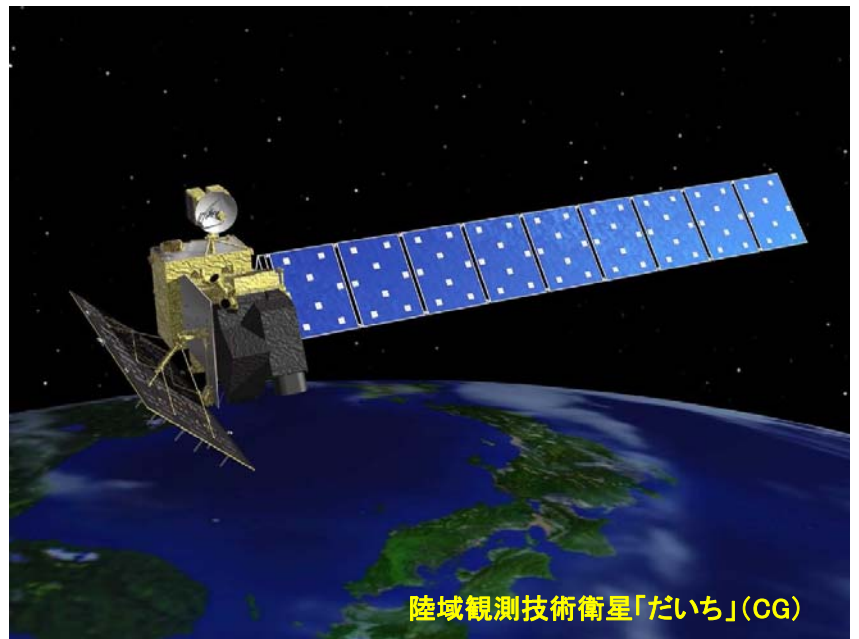
## 「だいち」のラストショット

アフリカ中央部  
チャド湖付近を  
観測した画像

取得日時:  
2011年4月22日  
6時29分頃  
(日本時間)

最終画像の撮像位置

(c) JAXA, METI analyzed by JAXA



陸域観測技術衛星「だいち」(CG)

## 「だいち」5年間の実績・成果

- (1) 全世界を観測し、5年間で650万シーンに及ぶ撮像を実施。
- (2) 災害緊急観測活動による貢献。  
年間約100件の大規模災害を観測し、国内外へ情報提供。  
(四川省大地震の際には中国から感謝状を頂きました)  
災害発生時の緊急観測画像の提供に加え、平時のハザードマップ作りや活火山のモニタリングなどにも貢献しました。  
東日本大震災では400シーンの撮像を行い、関係各省庁・機関へ情報提供し、政府による被害状況の把握に貢献しました。  
「だいち」がこれまで海外の大規模災害の被災地を積極的に観測してきたお返しとして、東日本大震災では、国際災害チャータやセンチネルアジア等海外から多数のデータ提供を受けました。
- (3) 国土地理院での2万5千分1地形図の作成・更新に「だいち」のデータが利用されました。
- (4) ブラジルの森林伐採監視、世界銀行との協力(気候変動の影響監視)など、地球環境分野でも貢献しました。



だいち (ALOS) の観測画像は、下記ウェブサイトでご覧いただけます。  
<http://www.sapc.jaxa.jp/gallery/index.php>